

大学生を対象としたHIV/エイズに関するアンケート調査結果（平成25年4月～5月実施）

平成25年8月28日 第1回会議

資料 1 2

1 性別

	男	女	答えたくない	無回答	合計
人数	1,296	1,169	4	6	2,475
割合	52.4%	47.2%	0.2%	0.2%	100.0%

2 年齢

年齢区分	人数	割合
20歳未満	1,732	70.0%
20～24歳	671	27.1%
25～29歳	25	1.0%
30～34歳	4	0.2%
35歳以上	8	0.3%
無回答	35	1.4%
合計	2,475	100.0%

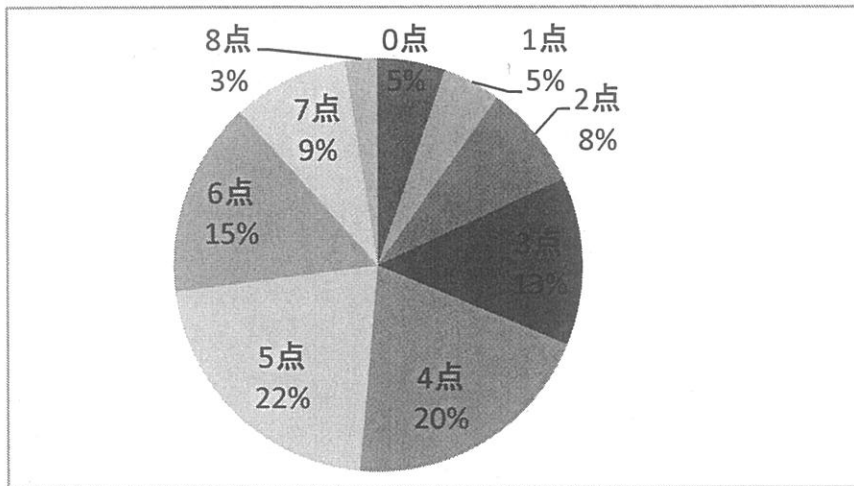
3 居住地

居住地	人数	割合
大阪市内	905	36.6%
その他大阪府内	726	29.3%
大阪府以外	671	27.1%
無回答	173	7.0%
合計	2,475	100.0%

4 正しい知識正答率

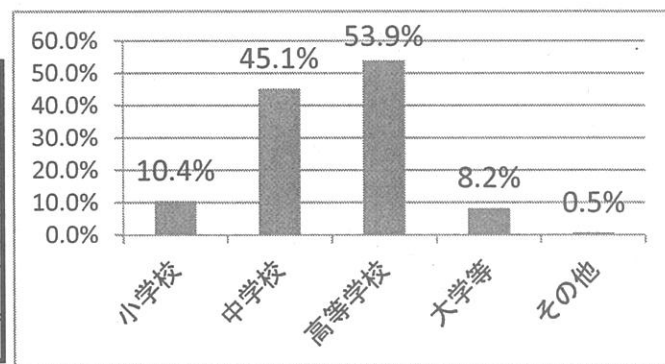
	正しい	誤り	わからない	無回答
HIVに感染すると必ずエイズを発症する	495 20.0%	1,161 46.9%	809 32.7%	10 0.4%
HIV感染症は医療の進歩で、服薬を継続することでエイズ発症をコントロールできる病気となった	940 38.0%	678 27.4%	843 34.1%	14 0.6%
HIV感染により免疫が低下すると、さまざまな感染症や悪性腫瘍(がん)にかかりやすくなる	1,946 78.6%	83 3.4%	432 17.5%	14 0.6%
現在のHIV感染症の主な感染経路は性的接触である	1,904 76.9%	221 8.9%	339 13.7%	11 0.4%
HIV検査では、感染していても陽性(感染している)とならない初期の期間でも、精液や膣分泌液には感染源となるウイルスが含まれている	1,429 57.7%	104 4.2%	933 37.7%	9 0.4%
HIV感染の予防はコンドーム使用がきわめて有効である	1,857 75.0%	204 8.2%	405 16.4%	9 0.4%
大阪市では昨年1年間の新規HIV感染者/エイズ患者の発生数は100件を超えている	806 32.6%	77 3.1%	1,581 63.9%	11 0.4%
大阪市では平成20年以降、保健福祉センターでHIV検査を受けた人が減っている	478 19.3%	407 16.4%	1,579 63.8%	11 0.4%

5 正しい知識正答数



6 授業・研修受講歴

	人数	割合
ある	1,756	70.9%
ない	546	22.1%
わからない	165	6.7%
無回答	8	0.3%
合計	2,475	100.0%



7 HIV検査受検経験

	人数	割合
ある	41	1.7%
ない	2,366	95.6%
無回答	68	2.7%
合計	2,475	100.0%

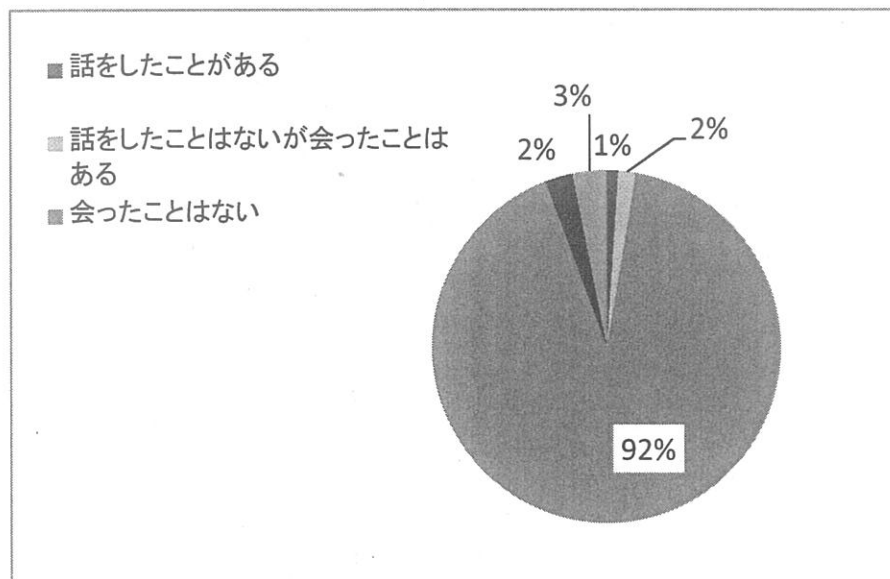
8 HIV検査に関する知識の有無

	知識有	知識無	無回答	合計
検査を受ける場所	673 27.2%	1,734 70.1%	68 2.7%	2,475 100.0%
無料・匿名	1,250 50.5%	1,157 46.7%	68 2.7%	2,475 100.0%
休日・夜間	277 11.2%	2,129 86.0%	69 2.8%	2,475 100.0%

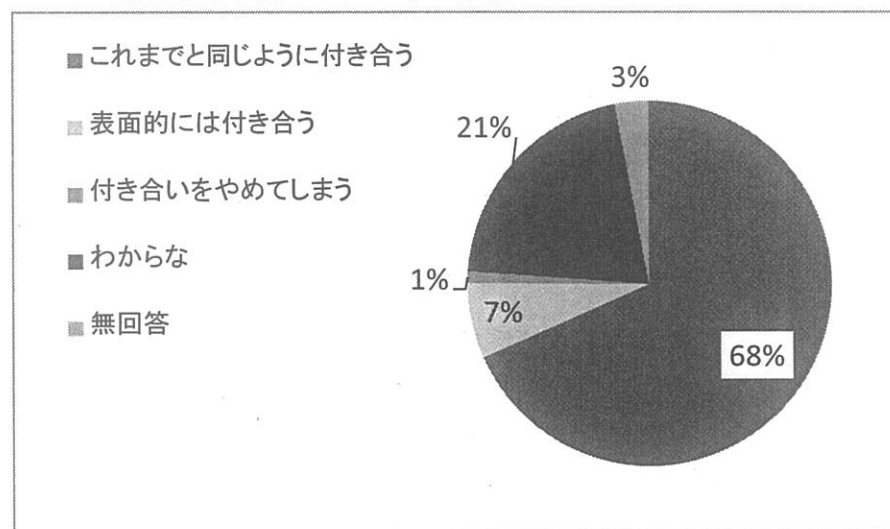
9 コンドームに関する態度

	知識有	知識無	無回答	合計
保管方法を知っているか	518 20.9%	1,882 76.0%	75 3.0%	2,475 100.0%
装着方法を知っているか	1,047 42.3%	1,351 54.6%	77 3.1%	2,475 100.0%

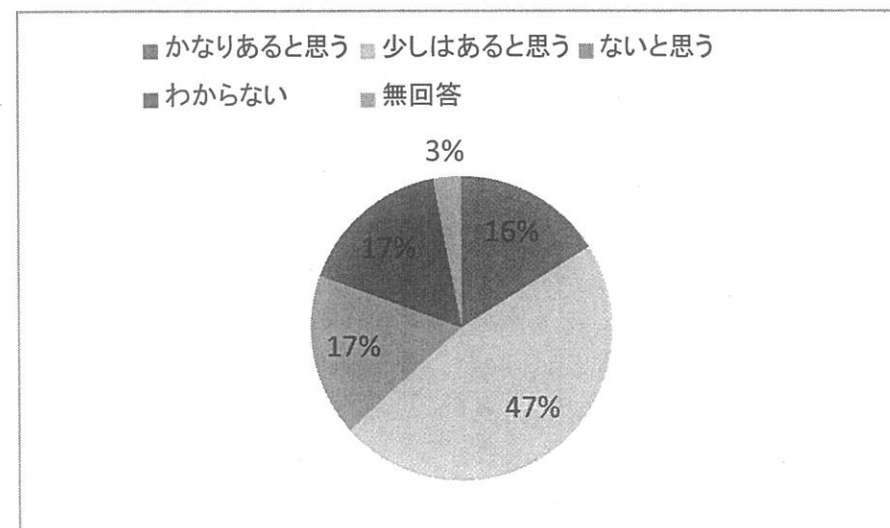
10 HIV陽性者と話したり会ったりした経験の有無



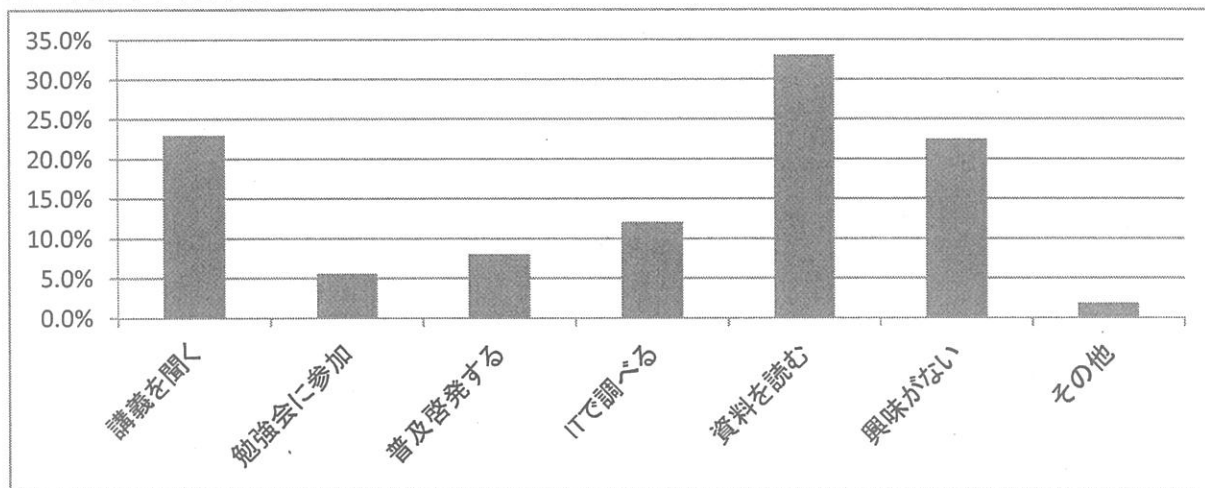
11 HIV陽性を打ち明けられた時の態度



12 HIV陽性者やその家族に対する偏見や差別があると思うか？



13 今後の学習意欲



14 見たことのある情報

媒体	人数	平均	市内居住者	府内他市	府外
エイズのはなし(一般用)	118	4.8%	5.1%	5.5%	3.7%
エイズのはなし(高校生用)	153	6.2%	5.7%	8.0%	4.8%
大阪市ホームページ	113	4.6%	6.0%	5.0%	2.8%
エイズ予防ポスター	156	6.3%	6.9%	8.0%	4.2%